

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2010.10.4

No. 47



どうなる二次募集？

9月日銀短観先行きは悪化に転じる

就職希望者の第一次の結果が順次発表になっていますが、現在半分強の生徒が不合格となり、当初の予想以上に厳しい結果となっています。新しい企業を開拓すべく進路係としてもいくつかの企業に問い合わせしていますが、なかなか思うような結果が出てきません。

先日29日、日銀が発表した9月の企業短期経済観測調査（短観）によると、景況感の目安となる大企業製造業の業況判断指数は、6期連続で改善したようですが、欧米経済の減速懸念や約15年ぶりの急激な円高への警戒感などを背景に、3カ月後の先行き業況判断はマイナス1となり、景気の先行き不透明感が強まっているとのことです。つまりこれからの経済状況には不安要素が強まり、求人が先細りになる可能性があるように思われます。

昨年も今年同様に厳しかったのですが、12月以降景気の回復により求人が伸びましたが、今年は逆にこれからますます厳しくなり、求人が益々無くなるかもしれません。

一次でうまくいかなかった人は、もうしばらく経てば、ハローワークよりまだ求人のある企業の情報が来るでしょうし、支援員の唐澤さんに新規開拓をお願いしていきたいと思います。求人が出次第適当なところがあれば、早めに対応していかないと、後へ行けば行くほど厳しくなる可能性のあることを肝に銘じてください。あまり贅沢を言っていると、行き先が無くなる可能性もあります。

負の連鎖



皆さんには次のような経験は一度ならずあるでしょう。「授業を聞くがよくわからない 早めにわからせようとしなない 益々わからなくなる やる気が出ず勉強しない テストで点数がとれない 勉強がつまらなくなる 益々勉強しなくなる 成績は下がる一方・・・」。こうした状況を負の連鎖といいます。こうした負の連鎖はいろいろなところで起きがちです。ひとたびこうした負の連鎖に陥ると、なかなかその連鎖を断ち切ることができなくなってしまいます。

これは個人の問題だけではなく、大きくは国の経済や、会社や、学校等においても起こりうることです。例えばひとたび学校に対して負の評価がつくと、益々その状況が深まっていきがちです。しかもそれを断ち切るためには相当のエネルギーが必要になります。

今年の就職試験に関連しても、企業見学を無断ですっぽかしたり、遅刻したり、企業のかたが来校した際、生徒があまり挨拶しない等々幾つかの企業からおしかりを受けたことがあります。こうしたことが学校の評価を下げ、負の連鎖を起こしかねません。何事も早い段階で改善すればよいのですが、傷が深まってからでは大変です。一人一人の自覚を期待したいものです

希望は人を成功に導く信仰である。希望がなければ何事も成就するものではない。

ヘレン・ケラー

